

2学期の始まりにあたって

42日間の夏休みが終わり、2学期が始まりました。始業式では、生徒たちの元気な顔を見ることができ、安心しました。

今年の夏は、多くの自然災害が発生しました。熊本県や茨城県での地震、千葉県や石川県を中心とした豪雨災害などです。現在もなお、多くの方々が避難生活を余儀なくされていることを思うと、私たちがこうして普段どおり学校生活を送ることができる幸せを感じるとともに、被災地の一日も早い復興を願わずにはいられません。

被災地での避難生活の様子は、テレビや新聞、インターネットなどを通して知ることができます。厳しい暑さの中、ボランティアの方々とともに壊れた家の片づけをされている姿を見るたびに、胸が痛みます。

平成21年に発生した「中国・九州北部豪雨」の際、防府市にある私の実家の裏山が崩れました。実家と裏山の間には祖母の家がありましたが、祖母の家は床上浸水となり、実家も庭にあった物が流される被害を受けました。祖母と両親は消防団の方々に助けられ、近くの公民館へ避難しました。

その後、祖母の家や実家の庭の周辺に堆積した土砂を取り除いたり、荷物を運び出して処分したりしましたが、真夏の炎天下での作業は大変厳しく、1時間もすると体が動かなくなるほどでした。



そんな中、市内の中学生や高校生がボランティアとして何度も手伝いに来てくれました。汗と泥にまみれながら黙々と作業する姿に、心から感謝したことを今でも鮮明に覚えています。

今すぐ熊本県や千葉県の被災地へボランティアとして行くことは難しいかもしれませんが、しかし、被災地に思いを寄せ、復興を願う気持ちを持ち続けることは、私たちにもできる大切な支援の一つです。

また、1学期に行われた防災教室では、「南海トラフ地震は必ず起こる」と学びました。もし今日、大きな地震が発生したら、自分はどのように行動するのか。これはぜひ一人ひとりが考えておきたいことです。

9月1日は「防災の日」です。ぜひご家庭でも、「いざというときにどのように行動するか」について話し合ってみてください。（文責：校長）

夏休み中学生料理教室

7月30日（木）に、美和保健センターで料理教室が開催されました。食生活改善推進員の方に教わりながら、カレーなどを作りました。

初めは緊張もあってか、ぎこちない動きでしたが、徐々に慣れてきて、予定時間よりもかなり早く出来上がり、おいしくいただきました。

ご指導をいただいた食生活改善推進員の皆様、ありがとうございました。



美和町学校運営協議会

8月24日（月）に、美和小中、坂上分校の教職員、学校運営協議会の委員が集まり、熟議を行いました。テーマは「児童・生徒の学びのスイッチをつけるためには、どうしたらよいか？」

7つのグループに分かれて、考えを出し合いました。「将来の夢をまずもち、そこへ向けて努力していく」「できた！わかった！と思える授業をとおして、学習意欲を高める」などの意見とともに、「家庭での見守りや声かけも大事」という意見もありました。



「学校」「家庭」「地域」が三位一体となって、子どもたちの成長を支えていける活動に取り組んでいきたいと思っています。

三世代交流奉仕作業

8月22日（土）に行った「三世代交流奉仕作業」には、朝早くからたくさんの方に参加していただき、本当にありがとうございました。

学校の敷地内の雑草がみるみるなくなり、2学期に向けての環境整備ができました。

保護者の皆様、地域の皆様、美和中生徒の作業時の様子はどうだったでしょうか？一生懸命作業をしてたでしょうか？

私たちは「美和の子を美和で育てる」ということを大切にしていきたいと思っています。もし、お気付きの点がありましたら、遠慮なく中学校へお知らせください。

